

2022年9月15日（木）～9月18日（日）

槍ヶ岳（3180m）

槍ヶ岳登山2日目の朝は雲一つない快晴でした。

台風の影響で南関東辺りでは断続的に激しい雨が降っているとのことでしたので、3人はよほどいつもの行いが良いのかと思うほどでした。ただ、快晴で気温が上がり過ぎたのが、暑がりの池戸さんにとっては想定外であったようです。思わぬ展開が待っていました。

9月16日（金）二日目 快晴 横尾山荘より槍ヶ岳山荘へ 山荘到着後に槍山頂に挑戦

4時頃に起きだして、談話室で朝食をとることにした。さすがにまだ暗かった。

山荘が準備してくれた朝食はパンのセットで美味しいのだが、量が多くて食べきれない。

残りは昼食にまわすこととした。



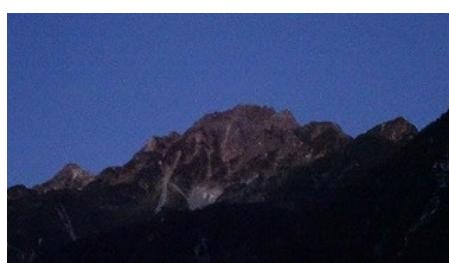
5時

薄暗い中を出発



山に目をやると、雲一つない青空が広がっていた。

月が天空に浮かび、どこに向かうのか国際線の飛行機雲が白い線を引いている。



心地よい梓川の沢音を聞きながら、川の上流へ向かって進んだ。



空はすっかり明るくなってきた。

梓川の河原で中島さんが盛んに写真を撮ってくれたのだが・・・



ん～、残念！

「槍見河原」での一枚には、槍が写っていないなかったようだ。ここからは槍ヶ岳が見えるそうだ。

(↓ 「槍見河原」の標示あり)



歩き始めてちょうど 60 分経った 6 時に橋を渡った。そこには「一の俣」の標識があった。渡った沢は、「一の俣谷」



渡った沢は、「二の俣谷」



6時30分

小さな水力発電所の小屋を通過
ここから槍沢ロッジに電気を送っている
らしい。
ロッジは近い。



槍沢ロッジが目の前だ。



6時45分
槍沢ロッジに到着

明日の下りで泊まる山荘なので、目先で不要な荷物はすべて預けることにした。ザックが1～2キロほど軽くなったような気がする。ここは水が豊富で、しかも飲めるので、しっかりと水補給もすることができた。



ロッジ横の広場からは、槍ヶ岳が望める
場所がある。

槍の先端が良く見えた。



ロッジから見えた槍ヶ岳

雲一つかかっていない。
最高の登山日和になったようだ。

7時5分 ロッジを出発



ナナカマドが色づき始めている。



ロッジを出発して20分

いよいよ頭上には太陽が昇ってきた。
気温も少しづつ上がっている。



7時40分

ロッジから900m、槍沢キャンプ地の
「ババ平」に到着
幾組かのキャンプ泊の登山者が
寛いでいた。





槍ヶ岳までは 5 Km

梓川の沢沿いを進む。



8時10分

「槍沢大曲（2094m）」に到着
ここを右に折れて登っていくと水俣乗越に出る。



大曲で小休止。ここから天狗原分岐までは小一時間だ。



9時25分

天狗原分岐（2348m）に到着
左に折れれば、天狗池、天狗原に向かう。

明日の下山は、天狗原方面から降りてきて、
こここの分岐地点に至る予定だ。

好天に加えて、予想外の気温上昇で池戸さんは汗が止まらない。ちょっとペースが落ちてきた。
天狗原分岐から登りだして暫くすると、足がつってしまった。効き目の早い漢方を飲んで、歩き出したのだが再び足がつった。「ちょっとつり方が強い」とのこと。



9時50分

先を歩いていた中島さんに止まってもらつて、調子を確認することにした。

ここから上は樹木が少ない岩場となるため、日陰はますます少なくなる。

「無理せず下山する」との池戸さんの判断。槍沢ロッジに泊まって、明日の中島、吉松の下山を待ってもらうことになった。

池戸さんの下山の後ろ姿を確認してから、中島さんと吉松は岩と礫の登山道を登り始めた。



10時30分

この辺りからは未だ槍は見えない。
ひたすら一歩一歩登るだけだ。



10時48分

ついに山に隠れていた槍ヶ岳の山頂が
見えてきた。
一辺の雲にも覆われていない槍は、
実に美しい。

槍をバックに、手槍を作つて記念写真





槍ヶ岳を開山したといわれる播隆上人が籠った洞窟

槍が益々よく見えるようになってきた。槍と遊ぶ中島さんの写真3点



12時
殺生分岐の標識辺りで昼食をとった。
朝が早かったので、
いささかシャリバテ気味

槍ヶ岳山荘も見えるようになってきた。
昼になって雲が出始めたのが一寸残念だ。



最後のジグザグ道を登って、
山荘まであと110m



午後 1 時

槍ヶ岳山荘に到着

高齢でもあるので、計画では予備時間を加味して 2 時ごろに到着の予定であった。予定時刻よりも一時間早く着いたので、ほとんど標準時間で登ったことになる。ちょっとペースが早かったかもしれない。



息を整えエネルギーを補給するために、山荘の長いベンチで暫し休憩した。

【閑話休題】登山道で出会った花々



山荘前のベンチでは、「さて、これからどうする」という話になった。

「槍に雲がかかってきたから、登るのは明日にしようか?」というような、珍しく中島さんの弱気の提案もあった。要するに疲れ切ってしまったとのことだった。

が、明日にも雲がかからないわけでは無い、といったような逡巡を重ねた末に、やっぱり今日登っておこうという結論になった。



意を決し、サブザック一つを背負って槍に挑戦した。



こんな恐ろしい梯子をたよりに、山頂を目指したのだ。

2時20分
ついに槍の山頂に立つことができた。





槍の山頂は狭く、次々と這い登ってくる登山者に場所を開けてやらなければならない。

名残りは尽きなかったが、2時25分に槍から下り始めた。登り以上に細心の注意を払った。



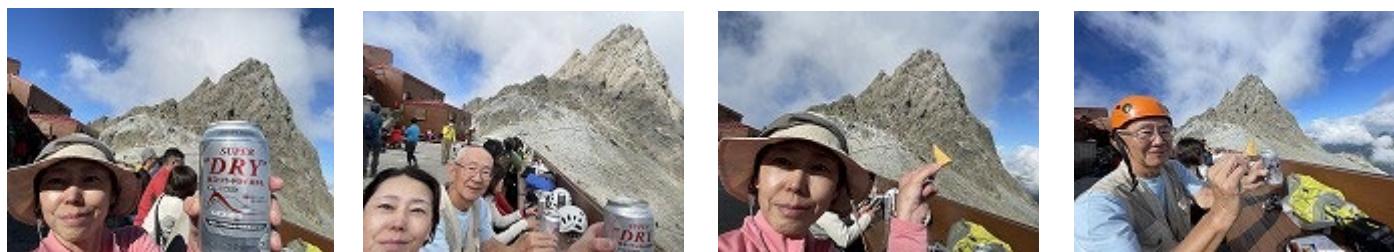
2時50分、無事に下ることができた。



今回の登山の大きな目的を達成した。

達成したら現金なもので、あんなに疲れていたのに元気が出てきた。

とんがりコーンをつまみに、缶ビールで乾杯することになった。



山荘には早いチェックインだったので、夕食も一番乗りの5時から

缶ビール一本では飲み足らず、夕食にもう一本 グビグビ！



本日のメニュー

春巻き、シュウマイ、エビチリなどなど



アルコールも入り、吉松はそそくさと布団に潜り込んで、グーグー

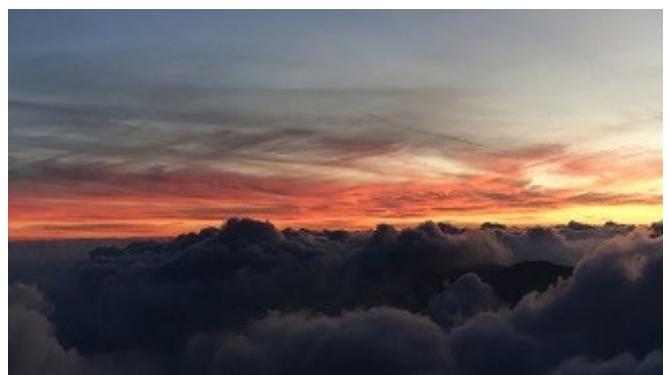
あれほど疲れたと言っていた中島さんは、外で盛んにカメラのシャッターを切っていたらしい。



吉松はグーグー

隣で寝ているはずの中島さんは外でブラブラ

中島さんが撮影した写真を以下に一挙公開



池戸さんが暑さで途中リタイアして、登ってこられなかつたのが残念でした。

3人一緒に缶ビールで乾杯したかったのですが・・。

台風が次々と日本列島を襲ってきてているのに、槍ヶ岳近辺だけはその影響を受けることがなく快晴だったのは実に幸運でした。昼までは、雲一つない青空でした。

明日は、大喰岳、中岳を経由して天狗原に下っていくルートです。尾根歩きの楽ちんルートと思い込んでいたのが大間違い。結構な下山行でした。3日目のレポートに乞うご期待！